



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第14回

三井倉庫ホールディングス株式会社

人事部人材企画開発課 課長

高須 美聡さん

PROFILE

1997年三井倉庫㈱入社。関東支社営業グループ運輸チームに配属。通関手配をはじめ輸出入関連業務を担当。2002年に人事部に異動、給与・労務・採用・教育など人事関連業務を幅広く経験した後、2012年同部課長代理、2016年現職に。人材企画開発課長として、人員計画、キャリアパス、教育体系の企画、運用および管理に携わっている。神奈川県出身。

「働き方改革」に取り組む

——ご自身の職場について教えてください。

人事部は、私が所属する人材企画開発課と、労務や給与計算などを担当する人事課で構成されており、担当ごとのチーム制になっています。かつては少人数制だったため、各自の分業制で成り立っていた時代もありましたが、近年は部全体で取り組まなければならない課題も増えていきますので、チームごと、そして部内で連携を取りながら仕事を進めています。年々、チームワークが強化されてきていますし、課と課の間に垣根のない職場なので人事部全体の連携もあり、良い雰囲気だと感じています。

——現在、力を入れている取り組みについて教えてください。

環境の変化が激しい現代、当社では会社を挙げた改善活動に取り組んでいます。また、昨年から始まった「働き方改革」は、会社においても人事部においても重要課題です。もともと人事の仕事は、世の中の流れに応じた変化が必要であり、これと決まった形がありませんが、今回の改革は今まで当たり前だったことが通用しなくなるほどの大変革となります。私たちも他社の状況など最新の情報収集に努めなが

ら、人事関連の制度改革に取り組んでいるところです。人材育成に対する考え方も、これまでの「育てる」から「個々の能力を引き出す」に変わってきています。そうした変化に柔軟に対応しながら、キャリアパスや海外研修等、社員一人ひとりが活躍できる環境を整えなければならないと思っています。

人の成長が会社の成長を支える

——取り組みを進めていく上での課題を教えてください。

ご承知の通り、もともと物流業界の体質は古く、当社においても同様です。働き方改革に対する理解も十分ではありませんし、事業特性から在宅勤務や短時間労働は難しいかもしれません。しかし、この取り組みは社会から求められていることであり、全企業が推進すべきものだと思います。そうした意味でも、社内



の意識改革は大きな課題の一つとなっています。また、物流業界は社会や学生からの認知度が低いため、人事としてもさらなる広報活動が必要です。これまでのよ

うに、物流や当社に興味を持ってくれた人の中から採用すればいいという考えでは、人材不足になる一方です。また、これから入社する世代は、公私の両立は当たり前と考えている世代ですから、誰もが活躍できる仕組みや風土づくりは必須となっています。

——ご自身はどんなときにやりがいを感じますか。

人事業務には「予算達成」というような結果が伴いません。そうした意味ではやりがいを感じにくい業務かもしれませんが、社員は会社にとって財産であり、社員の成長が企業の成長を支えています。その社員のモチベーションの向上やスキルアップをサポートし、「この会社で働きたい」と思ってもらえる制度を整えるのが人事の仕事です。社員の成長、ひいては会社の成長に貢献できる意義ある仕事に携わっていることにやりがいを感じています。

目標の有無が成長に差をつける

——ワークライフバランスについてのお考えをお聞かせください。

公私のメリハリをいかにつけるかが重要だと考えています。私自身も、プライベートでは工作中とは全く逆のことがたくなります。何も考えず身体を動かしたくなってゴルフやテニスの練習に行ったり、未計画のまま旅行に行ったりすることもあります。計画を立てないなんて仕事ではあり得ませんよね(笑)。でも、そうやって何にも縛られずに過ごしていると、不思議とまた仕事をしたくなってきました。そう

プライベート旅行の一コマ、
ハワイではホーストレッキングを楽しんだ



入社式で司会を務める高須さん(左)

した気持ちのメリハリが、オンオフのバランスを取る秘訣なのではないでしょうか。

——ご自身の経験を踏まえ、これから会社を支えていく世代に向けて、アドバイスをお願いします。

何事にも目標を持つことが大事だと思います。同じ仕事をするうえでも、何も考えずに着手するのと、目標を立ててから着手するのでは、仕事のスピード自体はもとより成長のスピードにも差が出てきます。自分の目指す方向がしっかりと決まっていれば、途中でつまづいたとしても原因究明や改善もしやすくなります。自分の成長のためにも、目標およびその達成に向けた行動計画を立て、一つひとつ推進していくことをお勧めします。

——ありがとうございました。

会社概要

三井倉庫ホールディングス株式会社

本社所在地: 東京都港区西新橋3-20-1

設立: 1909年10月11日

資本金: 111億円

代表者: 代表取締役社長 藤岡 圭

【事業概要】

三井倉庫グループ全体の指針を示し事業会社への経営サポートと全体最適化を行う持株会社。多岐にわたる三井倉庫グループの全体を広く見渡して、経営戦略の立案や方向性を策定。さらに、グループ収益の最大化を実現するため、グループ会社個々の事業戦略にもとづいたサポートや助言、経営資源の再分配などを行っている。

また、各事業会社で共通に必要な機能を経率的に集中処理するなど、事業会社をサポート。事業の効率化を図ることによって、よりスピーディーで、安全、確実なサプライチェーンを提供している。

